

いざというときのために取り出しやすい場所に保管しておきましょう。

保存版



丸森町

内水

ハザードマップ

大雨時の
災害リスクを
チェックしよう!



【内水はん濫と外水はん濫の違い】



内水はん濫

内水はん濫とは、排水能力以上の降雨や河川の水位上昇により排水が間に合わないことで側溝や水路等からあふれた雨水によって発生する浸水のことです。



外水はん濫

外水はん濫とは、堤防の決壊や堤防の上からあふれた河川の水によって発生する浸水のことです。

この「内水ハザードマップ」は、内水はん濫による浸水被害が想定される区域や浸水深、避難所などの情報を示したものです。

※外水はん濫についての情報は「丸森町防災マップ」をご参照ください。

丸森町デジタル防災マップ

内水ハザードマップ作成に伴い丸森町デジタル防災マップに内水被害のレイヤを追加しています。

URL ▶<https://www.town.marumori.miyagi.jp/hazardmap/agree.html>



丸森町浸水対策下水道事業概要

内水はん濫対策（雨水ポンプ場新設、直接放流管整備など）により期待される効果を掲載しています。

URL ▶<https://www.town.marumori.miyagi.jp/life/detail.php?content=1704>



はじめに

町民の皆様へ

- 丸森町では、令和元年東日本台風の降雨に伴い、内水はん濫により雨水ポンプが機能停止し、町中心市街地の床上・床下浸水が428戸となる甚大な被害が発生しました。
- 町の復旧・復興計画では、内水はん濫対策として、雨水ポンプ場新設・雨水ポンプ増設、直接放流管整備などを行い、令和元年東日本台風と同規模の降雨に対して、床上・床下浸水被害の軽減を図ることとしています。
- この「内水ハザードマップ」は、令和元年東日本台風の約2倍の雨となる想定最大規模降雨（1時間に120mmの降雨）を前提条件としています。
- 町民の皆様には、被害を最小限にするため、自分の命は自分で守る「自助」を基本とし、家族や地域で支えあう「共助」が重要であることをご理解していただくとともに、この内水ハザードマップを緊急時の避難行動にお役立てください。

地域の防災力を高める 自助・共助・公助

大規模災害時は、「自助・共助・公助」が連携することにより、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。

自助・共助・公助のイメージ図



もくじ contents

- 町民の皆様へ／地域の防災力を高める 自助・共助・公助／目次 P1
- 内水ハザードマップ P2
- 避難行動判定フロー／避難施設 P3
- 警戒レベルを用いた避難情報 P4
- 内水はん濫に備えた事前準備① P5
- 内水はん濫に備えた事前準備② P6
- 避難情報等の伝達方法 P7

発行：丸森町

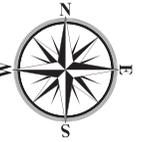
制作・著作：丸森町（問い合わせ：建設課 水道班 tel.0224-72-3033）

作成：令和8年3月

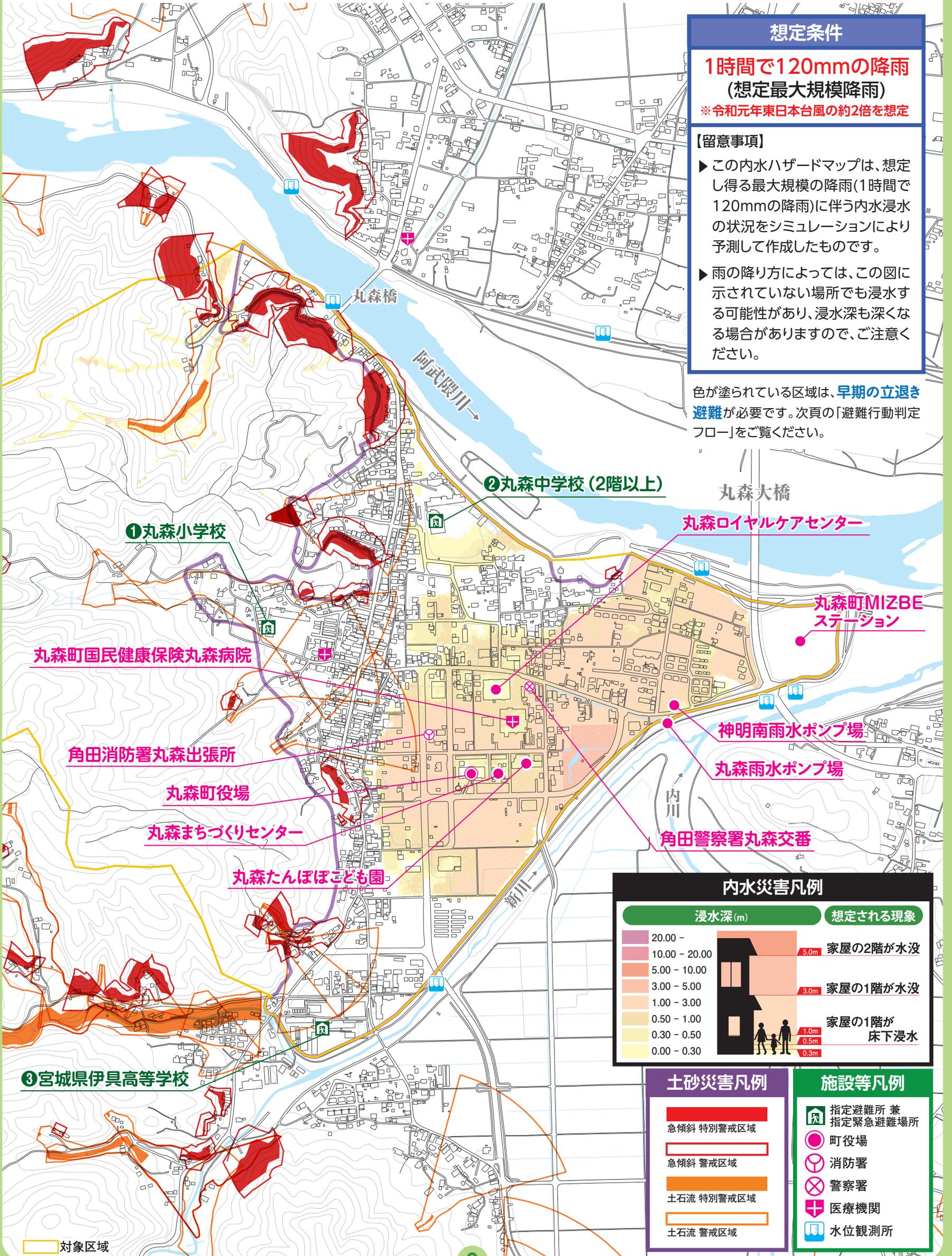
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行における基盤地図情報の基本項目及び数値標高モデル（5mメッシュ）を使用した。（承認番号）国地情使 第633号」

内水ハザードマップ

1:8,000
0m 150m 300m



この地図は、基礎地図情報の基本項目及び数値標高モデル(5mメッシュ)を使用して作成。測量法に基づく国土地理院承認(使用) R 7JHs 633



想定条件

1時間で120mmの降雨
(想定最大規模降雨)

※令和元年東日本台風の約2倍を想定

【留意事項】

▶この内水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨(1時間で120mmの降雨)に伴う内水浸水の状況をシミュレーションにより予測して作成したものです。

▶雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので、ご注意ください。

色が塗られている区域は、**早期の立退き避難**が必要です。次頁の「避難行動判定フロー」をご覧ください。

②丸森中学校 (2階以上)

①丸森小学校

丸森大橋

丸森ロイヤルケアセンター

丸森町国民健康保険丸森病院

丸森町MIZBE
ステーション

角田消防署丸森出張所

神明南雨水ポンプ場

丸森町役場

丸森雨水ポンプ場

丸森まちづくりセンター

角田警察署丸森交番

丸森たんぼぼこども園

内水災害凡例

浸水深 (m)	想定される現象
20.00 -	家屋の2階が水没
10.00 - 20.00	
5.00 - 10.00	
3.00 - 5.00	家屋の1階が水没
1.00 - 3.00	家屋の1階が 床下浸水
0.50 - 1.00	
0.30 - 0.50	
0.00 - 0.30	

土砂災害凡例

- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域

施設等凡例

- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 町役場
- 消防署
- 警察署
- 医療機関
- 水位観測所

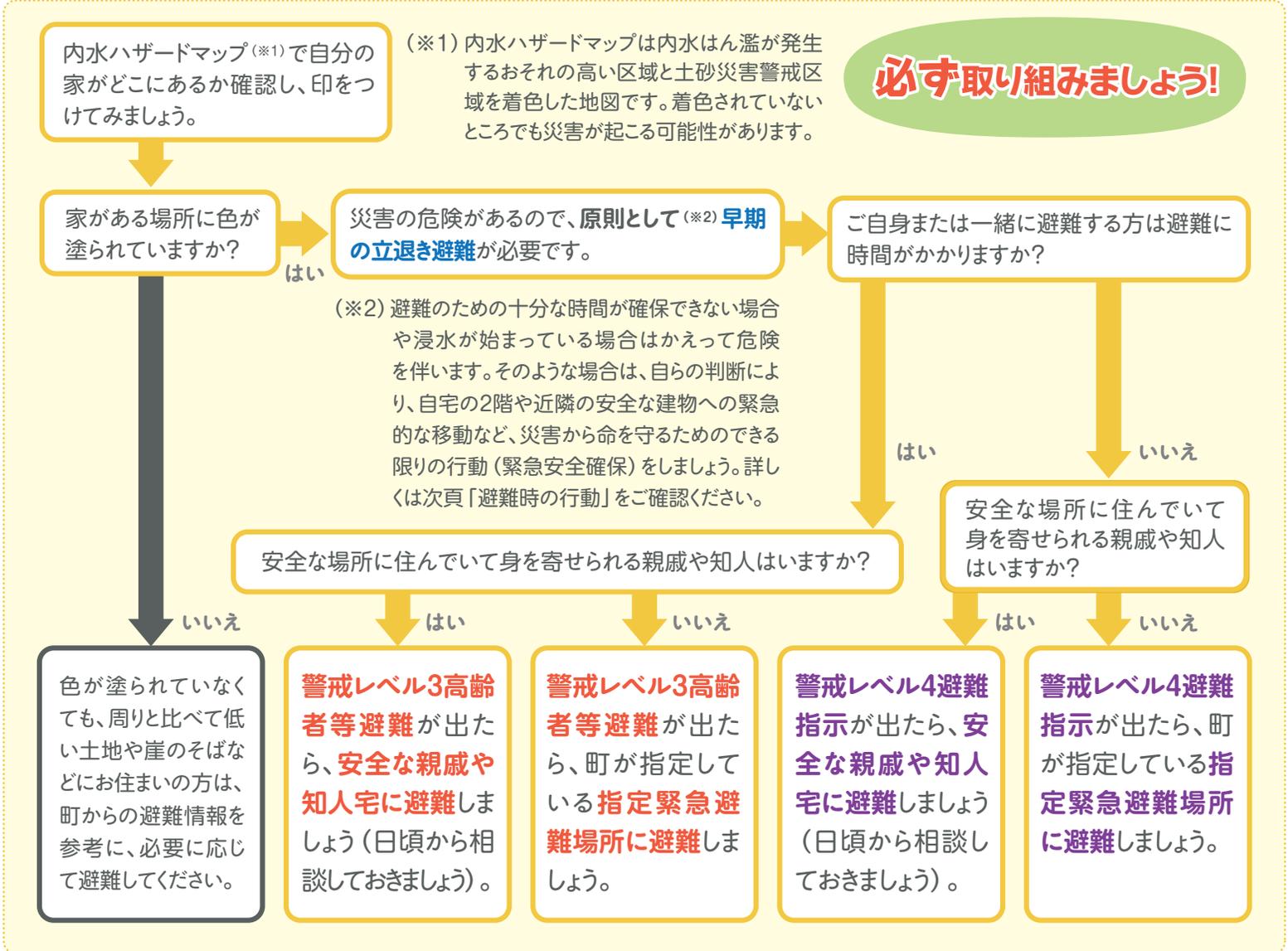
対象区域

避難行動判定フロー／避難施設

避難行動判定フロー

普段から確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

▼あなたがとるべき避難行動を確認しておきましょう。



避難施設

指定緊急避難場所

災害発生後の一時避難場所として、学校のグラウンド・公園・公共施設などを指定しています。

指定避難所

災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・まちづくりセンターなどを指定しています。

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

NO.	避難所名	階	住所	電話番号 (市外局番0224)	対象災害		
					内水	外水	土砂災害
①	丸森小学校		丸森町字菱川内39-1	72-2140	○	○	
②	丸森中学校	2階以上	丸森町字田町南51	72-2145	○	○	○
③	宮城県伊具高等学校		丸森町字雁歌51	72-2020	○	○	○

避難先は小中学校だけではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

要配慮者利用施設

要配慮者利用施設一覧

施設名	住所	電話番号(市外局番0224)
丸森町国民健康保険丸森病院	丸森町字鳥屋27	72-2131
丸森たんぼぼこども園	丸森町字鳥屋120	86-4336
丸森ロイヤルケアセンター	丸森町字鳥屋9-2	73-1101

警戒レベルを用いた避難情報

避難情報を正しく知って避難しましょう!

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低値の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	命の危険 直ちに安全確保
〈警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!〉				
警戒レベル 4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	避難に時間を要する人は早めに 避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報			災害への心構えを高める

※必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。
※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

- !** 警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。浸水が想定されている場合は、2階以上の安全な部屋に移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。
- !** 危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉、警戒レベル4で〈全員退避〉です。
- !** 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難時の行動

避難指示等が発表された時

安全に避難できる	浸水が始まっており、浸水区域の外への避難が困難
<p>水平避難</p> <p>危険区域より出て、安全な避難場所等へ避難しましょう。</p>	<p>垂直避難</p> <p>無理な避難は避け、自宅の2階や近くの高い丈夫な建物等へ避難</p>

※すでに浸水が始まっている場合や、足元が確認できない夜間の避難では、外に出ることで身の危険が高まることもあるため、避難場所に移動する「水平避難」だけでなく、自宅等の2階以上に移動する「垂直避難」も有効場合があります。雨の降り方や時間帯、浸水状況から、その場にあった避難方法を取りましょう。

雨の強さと降り方の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨量(1時間雨量)	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
雨の降り方	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	

出展:気象庁HP 雨の強さと降り方

内水はん濫に備えた事前準備①

内水はん濫が発生してから急に避難のための準備をしようとしても、時間がかかり十分な対応が困難となるので、平時から準備しておきましょう。

▶ 非常用持ち出し袋 (防災バッグ) の準備

非常時に必要なものをあらかじめリュックなどに詰めて、家の入口の近く等すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。また、大規模な災害発生時には、食料品が品薄になる可能性もあるため、最低でも3日分、できれば1週間程度の家庭での食料品の備蓄に取り組むことが大切です。

用意する際チェックボックス☑に印をつけましょう

持ち出し品 (持ち出し袋に入れるもの)

非常食

飲料水、乾パン、缶詰など
火を通さなくても食べられるもの。
※缶切りや栓抜きも必要であれば
忘れず入れておく。



携帯用ラジオ

予備の電池は多めに用意する。



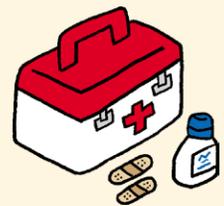
懐中電灯

できれば両手が使えるヘッドライトが好ましい。
予備の電池も忘れずに。



救急医療品

ばんそうこう、キズ薬、包帯、
普段飲んでいる常用薬、
お薬手帳など。



貴重品

預金通帳、印鑑、健康保険証コピー、
免許証コピー、現金 (公衆電話代で10円玉と
100円玉数枚) など。



その他生活用品

下着、防寒着、タオル、カイロ、
ウエットティッシュ、ライター、紙おむつ、
生理用品など。



新型コロナ等 感染症予防

マスク、ウエットティッシュ、アルコール消毒液、
体温計、ビニール袋、スリッパ、筆記用具



備蓄品 (災害発生後の生活のために備蓄しておくもの)

飲料水

飲料水は1人1日3リットルを目安に。
最低3日分 (理想は7日分)



燃料

卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料



食料品

アルファ米、缶詰やレトルトのおかず、インスタント食品 (カップラーメンなど)、菓子類 (クッキーやチョコレートなど)、乳幼児や高齢者用の食品も忘れずに。食料を少し多めにストックし、使った分を買いたすローリングストックが有効。



その他生活用品

毛布、寝袋、なべ、やかん、ポリタンク、
バケツ、紙皿、紙コップ、割り箸、
工具セット、簡易トイレなど。



※その他各家庭の人数や状況に応じて、各自必要なものを準備しておきましょう。
※非常時持出品の重さの目安は、男性15kg、女性10kg程度です。

内水はん濫に備えた事前準備②

事前の心構え

被害を抑えるための自衛策

◎家のまわりを点検・整備

梅雨や台風期の前に、家の周りの排水溝が詰まっていないかの確認や、風で吹き飛ばされる物の撤去等をしてください。



◎家庭でできる簡易水防

長めの板と土のうで臨時的止水板を作ります。予め土のう袋を準備できれば有効ですが、浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入を減少させることができます。大きめのごみ袋やポリタンク等に水を入れて、水の侵入口となるところに並べます。



内水はん濫時の助け合い活動

◎二人以上の避難

避難するときは2人以上で、となり近所への声かけをしましょう。



その他の準備

自主防災組織における 防災訓練

自主防災組織が実施する避難訓練に参加しましょう。訓練の際には内水ハザードマップの活用を推奨します。また、早期立退き避難が必要な区域の住民等におかれましては、年に1回以上の避難訓練をお願いします。

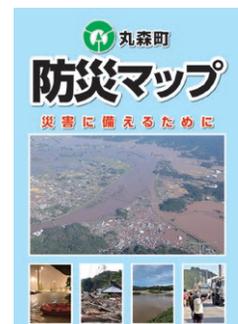
丸森町防災マップ

内水はん濫に適用される内水ハザードマップのほか、外水はん濫に適用される「丸森町防災マップ」を作成しています。



丸森町防災マップ

▶<https://www.town.marumori.miyagi.jp/disaster/detail.php?content=55>



既往水害に関する情報

令和元年10月12日に襲来した台風は、町民の尊い命を奪うとともに、私たちのふるさと丸森に町政史上最悪となる甚大な被害をもたらしました。この未曾有の災害の記憶や記録を風化させることなく、その教訓を次世代に伝えることを目的に、「丸森町令和元年東日本台風災害記録誌」を発刊しています。

丸森町 令和元年東日本台風災害記録誌

▶<https://www.town.marumori.miyagi.jp/town/detail.php?content=789>



避難情報等の伝達方法

情報入手方法

災害発生危険性が高まっているとき、また災害発生時には各種ツールで、町の避難情報、災害関連情報や気象情報などを確認することができます。

※読ませたいQRコード以外を紙などで覆い隠して読ませてください。



プッシュ型情報 (受け身でも情報を取得できる方法)

メール配信システム

※URLまたはQRコードからウェブサイトへアクセスし、事前登録することで自動的に避難情報等を受信できます。

まるもり安心・安全メール

防災や防犯などに関する情報をメールでお知らせします。登録は下記アドレスへ空メールを送信するか、右記QRコードをご利用ください。

▶ maru-safety@info.town.marumori.miyagi.jp

宮城県土砂災害警戒メール配信システム

ご希望のエリアの「大雨特別警報・警報・注意報」や「土砂災害警戒情報」をメールでお知らせします。登録は、下記アドレスへ空メールを送信するか、右記QRコードをご利用ください。

▶ touroku@doshasaigai.pref.miyagi.jp

丸森町公式ライン

多世代に利用されているメッセージアプリ「LINE」を活用した、丸森町LINE公式アカウントを公開しています。町の最新情報や災害時の緊急情報をいち早くお届けします。ぜひ友だち登録のうえ、ご利用ください。

▶ <https://www.town.marumori.miyagi.jp/town/detail.php?content=1420>

プル型情報 (自分から情報を取りに行く方法)

ウェブサイト

国土交通省川の防災情報

降雨状況とすべての観測所の観測記録を提供しています。

▶ <http://www.river.go.jp/>

キキクル

大雨による災害発生危険度をリアルタイムで確認できます。

▶ <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

宮城県防災情報ポータル

県内の防災気象情報や市町村の避難情報など確認できます。

▶ <https://miyagi-bousai.my.salesforce-sites.com/>

宮城県土木部総合情報システム

県内で発生した災害および災害警戒情報を提供しています。

▶ <https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

天候の悪化が予想されるときは、テレビ、ラジオなどから情報を入手しましょう。



災害用伝言サービス(171) 家族に安否を知らせるために…

大規模な災害が発生した時に被災地域内やその他の地域の方々との間で「声の伝言板」の役割を果たすシステムです。

伝言の録音方法

- 171 に電話する。音声ガイダンスが流れます。
- 1 を押す。音声ガイダンスが流れます。
- 0224-■■-■■■■ → 音声ガイダンスが流れます。
被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
- 伝言を入れる (30秒以内)

伝言の再生方法

- 171 に電話する。音声ガイダンスが流れます。
- 2 を押す。音声ガイダンスが流れます。
- 0224-■■-■■■■ → 音声ガイダンスが流れます。
被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
- 伝言を聞く

詳細な利用方法

NTT東日本災害用伝言ダイヤル(171)へアクセス
▶ <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>



災害用伝言板(web171) パソコンやスマートフォン、携帯電話等で利用できます

インターネットを利用した安否確認の伝言板です。

利用方法

web171へアクセス ▶ <https://www.web171.jp>

被災地の人の電話番号を市外局番から入力

伝言を登録・確認

緊急ダイヤル

消防への火事・救急・救助の連絡 ▶

119

警察へ事件・事故の連絡 ▶

110